

10回目記念展! 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2019」 第二弾 招待アーティストが決定! ～浅野忠信や榎忠、藤本由紀夫など8組～



六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社 100%出資)は、現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019」を開催します。本展は現代アート作品を通じ、六甲山の魅力を再発見してもらう事を大きなテーマにした展覧会で、これまでに通算300組を超えるアーティストが出展し、10回目の節目の開催となる本年は2019年9月13日(金)から11月24日(日)までの期間中、アートと出会う発見や驚きとともに“新しい六甲山の魅力”をお伝えできればと思っています。

この度、2月13日(水)に発表した第一弾に続き、第二弾の招待アーティスト8組の出展が決定いたしましたのでお知らせします。

※本展の詳しい開催概要は別紙をご参照ください。



浅野忠信



榎忠



高橋匡太



藤本由紀夫



江頭誠



大崎のぶゆき



藤江竜太郎



本多大和

【新たに決定した招待アーティスト】

あきのただのぶ えがしらまこと えのきちゆう おおさき たかはしきょうた ふじえりゆうたろう
浅野忠信、江頭誠、榎忠、大崎のぶゆき、高橋匡太、藤江竜太郎、
ふじもと ゆき お あすたりすく あすとろなびげーしょん ほんだやまと
藤本由紀夫 * astronavigation、本多大和

※本年は招待・公募アーティスト含め約40組が出展予定です。なお公募アーティストを5月7日(火)まで募集しています。詳しくは(www.rokkosan.com/art2019/)をご確認ください。

◆六甲ミーツ・アート 芸術散歩2019「早期割引券」の販売について

【販売期間】 2019年3月1日(金)～6月30日(日) <発売中>

【販売場所】

イープラス、チケットぴあ、JTBLレジャーチケット、
JTB電子チケット(PassMe!)、じゃらん、asoview!

【販売価格】

【早期割引券】

大人(中学生以上)1,800円、小人(4歳～小学生)900円

※当日券は大人2,200円、小人1,100円

【早期割引券+表六甲周遊乗車券】

大人(中学生以上)3,150円、小児(6歳～中学生未満)1,580円

※表六甲周遊乗車券:六甲ケーブル往復+六甲山上バス乗り放題(2日間有効)



花田千絵 「ほどけるとき」
六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018

資料に関するお問い合わせ先

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019 事務局 広報担当
六甲山観光株式会社 営業推進部

TEL:078-894-2210(平日9:00～18:00) / FAX:078-894-2088

六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019 第二弾 招待アーティスト

アーティスト名：^{あさのただのぶ}浅野忠信

〈経歴〉

1973年 神奈川県生まれ

1990年に松岡錠司監督の「バタアシ金魚」でスクリーンデビュー。セルゲイ・ボドロフ監督「MONGOL」は第80回（2008）米アカデミー賞で外国語映画賞にノミネート、2010年には根岸吉太郎監督「ヴィヨンの妻〜桜桃とタンポポ〜」、木村大作監督「劔岳 点の記」にて第33回日本アカデミー賞優秀主演男優賞をダブル受賞。また、熊切和嘉監督「私の男」では、第36回モスクワ国際映画祭でコンペティション部門最優秀男優賞を受賞。俳優業のみならず、音楽家としても活動し、「SODA!」でバンド活動や、DJも行う。2019年「TADANOBU ASANO 3634 浅野忠信展」をワタリウム美術館にて開催。



浅野忠信



© Tadanobu Asano

アーティスト名：^{えがしらまこと}江頭誠

〈経歴〉

1986年 三重県生まれ

2011年 多摩美術大学美術学部彫刻学科 卒業

戦後の日本で独自に普及してきた花柄の毛布を主な作品素材として用いて、大型の立体作品、空間性を活かしたインスタレーション作品を発表する。発砲スチロール製霊柩車を毛布で装飾した「神宮寺宮型八棟造」が第18回岡本太郎現代芸術賞で特別賞を受賞。空間内に毛布で洋式トイレを造った「お花畑」はSICF17でグランプリを受賞。



江頭誠



『神宮寺宮型八棟造』
写真提供：川崎市岡本太郎美術館

アーティスト名：^{えのきちゆう}榎忠

〈経歴〉

1944年 香川県生まれ

1970～76年「JAPAN KOBE ZERO」での活動を経た後、街中での会場探しからはじめ、自ら展覧会全体を作り上げることを行ってきた。型破りなパフォーマンスや、銃や大砲を扱った作品、金属の廃材に新しい生命を吹き込んだ作品など、独自の世界を展開。美術館やギャラリーに限ることなく、現在も神戸を拠点に活動を続けている。



榎忠



「RPM-1200」
「榎忠展 美術館を野生化する」兵庫県立美術館 2011年撮影：豊永政史
©Chu Enoki

アーティスト名：^{おおさき}大崎のぶゆき

〈経歴〉

1975年 大阪府生まれ

2000年 京都市立芸術大学大学院美術研究科
絵画専攻版画修了

自身の存在を軸にする思考から世界を知覚するべく、これまで独自の方法である壁紙の柄や線のイメージなどがドロドロと流れ出していく作品など、リアリティについて問いかけ、不確かさや曖昧な感覚を視覚化する作品を発表。最近の発表では、「イメージが消失する」という表現がもたらす感覚や思考をより深め、記憶や時間などのモチーフやイメージの存在について考察する作品を展開している。



大崎のぶゆき



untitled album photo 2017年
YUKA TSURUNO GALLERY

アーティスト名：高橋 匡太
<経歴>

1970年 京都府生まれ
 1995年 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城、十和田市現代美術館など光により建築空間をイメージに取り込みダイナミックな作品を創り出す。

多くの人とともに作る大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。



高橋 匡太


 『Glow with Night Garden Project in ROKKO 2018 提灯行列ランドスケープ』
 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2018

アーティスト名：藤江 竜太郎
<経歴>

1978年 広島県生まれ
 2004年 広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了

日本の伝統的な表現や文化を意識し、環境自体を素材として作品にしてしまう活動を行ってきた。近年は子供の頃から没頭してきたアウトドアをテーマに、自然との対話を目的とした装置としての野外インスタレーションの制作や悠々として繊細な自然の変化を感じるきっかけとなる活動を愉しんでいる。



藤江 竜太郎


 『ROKKO CARP CAMP』
 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2011

アーティスト名：藤本 由紀夫 * astronavigation
<経歴>藤本由紀夫

1950年 愛知県生まれ
 1975年 大阪芸術大学音楽学科音楽工学専攻卒業

* astronavigation(あすたりすくあすとろなびげーしょん)

「星の読書」のために2019年に結成されたグループ。創造的な「読書」を探求する。メンバー／藤本由紀夫、大西正一、鈴木大義、中山博喜、守屋友樹、大槻晃実

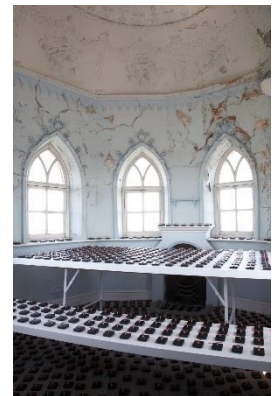
書物自身が創造的なものであるばかりでなく、読書もまた創造的な行為である。

読書とは、紙に書かれた文字を読むことだけではない。夜空の星の一つ一つを結びつけて星座を作り出すように、自然環境や自然現象から、人工的構築物からも私たちは様々な情報を読み取る能力を本能として持っている。六甲山には素晴らしい読書の環境がある。環境そのものが貴重な書物を収蔵する図書館と言えるだろう。

その「図書館」で創造的な「読書」を試みる。今、私たちは新しい読書の楽しみを探求する。



藤本 由紀夫


 The Tower of Time 2009
 ©IKON GALLERY

アーティスト名：本多 大和
<経歴>

1988年 東京都生まれ

デジタルな遊びをつくる作家・クリエイター。プログラミングでつくるインスタレーション作品や、イラストレーション等、企画・意匠・技術に境界を持たない制作スタイルで活動中。「みたて遊び」や「創作体験」をキーワードに、アートとエンタメの中間を探る体験型作品の制作を行う。2018年4月クリエイティブプロダクション・面白法人カヤックから独立してフリーランスに。



本多 大和


 『toatope』2018
 山梨県立美術館
 Yamato Honda / Yoshihiko Shimoda

■六甲ミーツ・アート 芸術散歩2019開催概要

※2019年4月16日(火)現在の情報です。変更が生じた場合は web サイト(<http://www.rokkosan.com/art2019/>)で
随時お知らせします

【会期】2019年9月13日(金)～11月24日(日) ※会期中無休

【開催時間】10時～17時 ※会場により営業時間が異なります。17時以降も鑑賞できる作品があります。

【会場】

六甲ガーデンテラス、自然体感展望台 六甲枝垂れ、六甲山カンツリーハウス、六甲高山植物園、
六甲オルゴールミュージアム、六甲ケーブル、天覧台、六甲有馬ロープウェイ(六甲山頂駅)
風の教会(グランドホテル 六甲スカイヴィラ会場含む)、記念碑台(六甲山ビジターセンター)

[プラス会場]TENRAN CAFE

※プラス会場「TENRAN CAFE」の展示作品の見学は、カフェのご飲食利用が必要です。

《展示 招待アーティスト》

浅野忠信、市川平、伊藤存、植松琢麿、江頭誠、榎忠、大崎のぶゆき、OBI、
小出ナオキ、佐川好弘、松蔭中学校・高等学校 美術部、高橋匡太、藤江竜太郎、
藤本由紀夫 * astronavigation、本多大和、山口典子 (2019年4月16日現在)

【料金】

5つの有料会場をお得に巡ることができる「鑑賞チケット」を発売

種類	販売期間	鑑賞チケット代金	鑑賞チケット代金 + 乗車券付
早期割引券	2019年3月1日(金)～6月30日(日)	大人(1,800円) / 小人(900円)	大人(3,150円) / 小児(1,580円)
前売券	2019年7月1日(月)～9月12日(木)	大人(1,900円) / 小人(950円)	大人(3,250円) / 小児(1,630円)
当日券	2019年9月13日(金)～11月24日(日)	大人(2,200円) / 小人(1,100円)	—

※大人(中学生以上)、小人(4歳から小学生)、小児(6歳以上12歳未満)

【チケット特典】

- ・有料会場(自然体感展望台 六甲枝垂れ、六甲山カンツリーハウス、六甲高山植物園、六甲オルゴールミュージアム、風の教会)に、会期中各1回ずつ入場いただけます。
- ・各施設に通常入場した場合大人3,070円、小人1,830円になるため大変お得なチケットです。
- ・入場当日は再入場可能です。また、会期中であれば日を分けて利用いただけます。

【鑑賞チケット+乗車券付】

- ・鑑賞チケットと六甲ケーブル往復、六甲山上バス2日間乗り放題(大人1,350円/小児680円)がセットになった便利なチケットです。

【早期割引券/前売券<販売場所>】

- ①e+(イープラス)、②チケットぴあ、③JTB レジャーチケット、④JTB 電子チケット(PassMe!)、⑤じゃらん、⑥asoview!

【当日券<販売場所>】

- ①有料会場の入場窓口、②六甲ケーブル六甲山上駅構内「ショップ 737 六甲遊山案内処」、
③六甲ミーツ・アートオフィシャルショップ「リトルホルティ」

【主催】

六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

【総合ディレクター/キュレーター】

高見澤清隆 六甲山観光株式会社 シニアディレクター

■作品イメージ

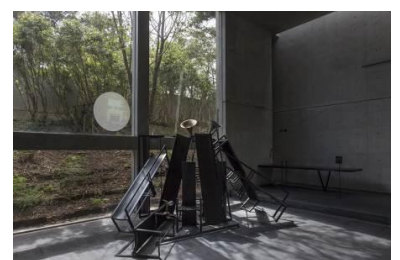
六甲山のエリア特性をじっくりと読み込み、自然や景観、歴史を採り入れた作品を各会場に展示します。



榮建太郎《いしのたね》
2018年 六甲オルゴールミュージアム



笠井祐輔《動物たちも景色を見ている》
2018年 TENRAN CAFE



さわひらき《absent》
2018年 風の教会